

授業科目	* 老年看護学演習				単位	1		
履 修	必修	関連資格	高一種免(看護)		ナンバリング	NU21317J		
開講年次	3	開講時期	前期	該当DP	DP2-1 DP3-2 DP4-2			
担当教員	溝部 昌子、吉原 悦子							
授業概要	<p>【実務家教員担当科目】</p> <p>老年看護学概論、老年看護学方法論の知識を基に、包括的に高齢者を理解し、看護計画を立案する過程を、事例患者で用いて学ぶ。また、老年看護学実習に必要な、高齢者看護技術を教員が行うデモンストレーションを通して学ぶ。</p> <p>実務家教員として、高齢者看護の実務経験のある教員により、実践的な老年看護のアセスメント技術、ケア技術について教授する。</p> <p>この科目は遠隔授業で実施する。</p>							
学生が達成すべき行動目標	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. 高齢者アセスメント技術(口腔・嚥下、下肢血流、褥瘡、体圧、残尿)の意義を説明できる</li> <li>2. 車椅子移乗を伴うトイレでの排泄援助について説明できる</li> <li>3. 老年看護過程アセスメントガイドを用いて適切に情報を整理、分析できる</li> <li>4. 高齢者のアセスメントで加齢性の心身変化を考慮できる</li> <li>5. 高齢者のからだ・こころ・くらし・かかわり・生きがいをアセスメントに活用できる</li> <li>6. 高齢者の看護目標の設定の特徴を説明できる</li> <li>7. 生活援助技術の高齢者看護での留意点を看護計画に反映できる</li> <li>8. 高齢者の転倒・転落を予防する看護を説明できる</li> </ol>							
達成度評価								
評価と評価割合／ 評価方法	試験	小テスト	レポート	発表(口頭、プレゼンテーション)	レポート外の提出物	その他	合計	備考
総合評価割合	0	0	40	0	40	20	100	
知識・理解 (DP1-1)								
知識・理解 (DP1-2)								
知識・理解 (DP1-3)								
知識・理解 (DP1-4)								
思考・判断 (DP2-1)			10		20	5	35	
思考・判断 (DP2-2)								
関心・意欲 (DP3-1)								
関心・意欲 (DP3-2)			5		10	5	20	
態度(DP4-1)								
態度(DP4-2)			25		10	10	45	
態度 (DP4-3)								
技能・表現 (DP5-1)								
技能・表現 (DP5-2)								
技能・表現 (DP5-3)								
具体的な達成の目安								
理想的レベル				標準的なレベル				
<p>加齢性の心身機能の変化を踏まえ、高齢者特有の健康障害や療養上のリスクを理解し、老年看護学的な種々の患者アセスメント方法を駆使し、対象を理解することができる。</p> <p>看護問題について対象の意向や環境に応じた看護目標の設定を検討することができる。</p> <p>対象の残像機能を活かせる看護方法のバリエーションを複数検討することができる。</p>				<p>基礎的な看護過程に、対象の加齢性の心身機能の変化や高齢者特有の健康障害や療養上のリスクが考慮されている。完全ではないが、老年看護学的な種々の患者アセスメント方法を活用し、対象の理解に努めている。</p> <p>看護目標や看護方法が一般的な内容にとどまり、対象の意向や環境が十分反映されていない。</p>				

<p>高齢者の排泄、皮膚、循環について高度なアセスメント技術を理解し、その情報や実施を看護過程に活用できる。 安全・安楽に配慮した高齢者の車椅子移乗を伴うトイレでの排泄援助技術を模擬患者で実践できる。</p>		<p>高齢者の排泄、皮膚、循環について高度なアセスメント技術を理解しはいるものの、十分にその情報や実施を看護過程に活用できていない。 安全・安楽に配慮した高齢者の車椅子移乗を伴うトイレでの排泄援助技術を模擬患者で実践できる。</p>		
授業計画				
進行	テーマ・講義内容	授業の運営方法	学習課題(予習・復習)	予習・復習時間(分)
1	1 老年看護過程 (溝部昌子) 科目ガイダンス 対象の理解-疾患と看護の学修 大腿骨頸部骨折、脳梗塞、パーキンソン病	遠隔授業、個人課題の演習 *様式 2-①提出	予習:大腿骨頸部骨折の病態の理解(病態と看護のシート様式 2-①) 復習:パーキンソン病、脳梗塞患者のアセスメント,老年看護過程アセスメントガイド 2020の活用	60
2	2 老年アセスメント技術① (溝部昌子) 口腔機能、嚥下機能評価、 頸部聴診 *聴診器を用意してください	動画教材、画像資料を用いた遠隔授業、ワークシートに沿った課題技術演習 *課題ワークシート提出	予習:事前学習資料、課題ワークシートをダウンロードし、該当分野の教科書や配布資料を読んでおく 復習:講義で説明された技術について自己で演習し、調べたこと、考察を加えて課題ワークシートを作成し提出する	60
3	3 老年アセスメント技術②(吉原悦子) 残尿測定、便秘の観察	動画教材、画像資料を用いた遠隔授業、ワークシートに沿った課題技術演習 *課題ワークシート提出	予習:事前学習資料、課題ワークシートをダウンロードし、該当分野の教科書や配布資料を読んでおく 復習:講義で説明された技術について自己で演習し、調べたこと、考察を加えて課題ワークシートを作成し提出する	60
4	4 老年アセスメント技術③(溝部昌子) 下肢血流評価、動脈触知、ABI 測定 浮腫の観察	動画教材、画像資料を用いた遠隔授業、ワークシートに沿った課題技術演習 *課題ワークシート提出	予習:事前学習資料、課題ワークシートをダウンロードし、該当分野の教科書や配布資料を読んでおく 復習:講義で説明された技術について自己で演習し、調べたこと、考察を加えて課題ワークシートを作成し提出する	60
5	5 老年アセスメント技術④ (溝部・金子) 褥瘡リスクアセスメント 褥瘡評価 体圧測定とポジショニング	動画教材、画像資料を用いた遠隔授業、ワークシートに沿った課題技術演習 *課題ワークシート提出	予習:事前学習資料、課題ワークシートをダウンロードし、該当分野の教科書や配布資料を読んでおく 復習:講義で説明された技術について自己で演習し、調べたこと、考察を加えて課題ワークシートを作成し提出する	60
6	6 老年看護技術①(吉原悦子) 車椅子移乗、トイレ介助	動画教材、画像資料を用いた遠隔授業、ワークシートに沿った課題技術演習	予習:事前学習資料、課題ワークシートをダウンロードし、該当分野の教科書や配布資料を読んでおく 復習:講義で説明された技術について自己で演習し、調べ	60

		*課題ワークシート 提出	たこと、考察を加えて課題ワ ークシートを作成し提出する	
7	7 老年看護技術② (溝部昌子) 豊かな生を支える看護 リハビリテーションに活かせる活動 ライフレビュー 手芸、工作、音楽、俳画など	遠隔授業 *課題作品提出	予習:リハビリテーションに活 かせる活動について資料を集 める 復習:高齢者の豊かな生を支 える看護の計画案を実施しレ ポートする	60
8	8 老年アセスメント看護ケア①(溝部昌子) パターン①健康知覚-健康管理と薬物療法の看護 パターン②栄養-代謝と食事の援助	配布資料を用いた 遠隔授業 *当該パターンを提 出	予習:対象事例についての学 修、アセスメントガイド、教科 書の該当箇所を確認する 復習:該当パターンのアセスメ ントを完成する	60
9	9 老年アセスメントと看護ケア②(吉原悦子) パターン③排泄と排泄自立支援 パターン④活動-運動と看護目標の設定	配布資料を用いた 遠隔授業 *当該パターンを提 出	予習:対象事例についての学 修、アセスメントガイド、教科 書の該当箇所を確認する 復習:該当パターンのアセスメ ントを完成する	60
10	10 老年アセスメントと看護ケア③(溝部・金子) パターン⑤睡眠-休息と夜間の看護 パターン⑥認知-知覚、⑦自己知覚 パターン⑧役割-関係、⑨性-生殖	配布資料を用いた 遠隔授業 *当該パターンを提 出	予習:対象事例についての学 修、アセスメントガイド、教科 書の該当箇所を確認する 復習:該当パターンのアセスメ ントを完成する	60
11	11 老年アセスメントと看護ケア④(溝部昌子) パターン⑩コーピングストレス耐性 パターン⑪価値・信念 看護診断と優先順位	配布資料を用いた 遠隔授業 *当該パターン、看 護診断名リストの 提出	予習:対象事例についての学 修、アセスメントガイド、教科 書の該当箇所を確認する 復習:該当パターンのアセスメ ントを完成する、看護診断名 を根拠と共に示す	60
12	12 老年アセスメント看護ケア⑤(吉原悦子) 事例の発表 老年看護の計画	配布資料を用いた 遠隔授業 *看護計画を提出	予習:看護計画を立案する 復習:発表を聞いて看護計画 を修正し提出する、事例の看 護過程の全ての記録物を提 出する	60
13	13 老年看護技術③(溝部・金子) 高齢者の転倒・転落予防 転倒後症候群 KYT 危険予知トレーニング	配布資料を用いた 遠隔授業、グルー プディスカッション による協同学修 *課題ワークシート 提出	予習:事前学習資料、課題ワ ークシートをダウンロードし、 該当分野の教科書や配布資 料を読んでおく 復習:講義で説明のあった技 術について自己で演習し、調 べたこと、考察を加えて課題 ワークシートを作成し提出する	60
14	14 まとめ(溝部昌子) 老年看護のアセスメント、看護ケア技術についての 振り返り 高齢者の療養生活の理解	遠隔授業、課題発 表、課題のフィード バック	復習:老年看護におけるアセ スメント、看護ケア技術の振り 返り、高齢者の療養生活の理 解を深める	60
15				
16				
17				
18				

19				
20				
21				
22				
23				
24				
25				
26				
27				
28				
29				
30				
理解に必要な予備知識や技能	<ul style="list-style-type: none"> <li>・小山幸代:老年看護技術(看護実践のための根拠がわかる),メヂカルフレンド社</li> <li>・大淵 律子:老年看護学-老年看護の実践(ナーシング・グラフィカ),メディカ出版</li> </ul>			
テキスト	<ul style="list-style-type: none"> <li>・山田 律子:生活機能からみた 老年看護過程 第3版,医学書院</li> </ul>			
参考図書・教材／データベース・雑誌等の紹介	<ul style="list-style-type: none"> <li>・日本摂食嚥下リハビリテーション学会:嚥下調整食学会分類 2013 など <a href="https://www.jsdr.or.jp/doc/doc_manual1.html">https://www.jsdr.or.jp/doc/doc_manual1.html</a></li> <li>・日本褥瘡学会:褥瘡予防・管理ガイドライン(第4版)2015 <a href="http://www.jspu.org/jpn/info/pdf/guideline4.pdf">http://www.jspu.org/jpn/info/pdf/guideline4.pdf</a></li> </ul>			
授業以外の学習方法・受講生へのメッセージ	<ul style="list-style-type: none"> <li>・高齢者看護では、高度なアセスメント技術が必要です。これらは、老年看護学実習だけでなく、臨地実習全般、臨床実践で活用できる知識・技術となりますので、学内で修得しておきましょう。</li> </ul>			
達成度評価に関するコメント	<ul style="list-style-type: none"> <li>・看護過程 アセスメント、看護計画等提出 40%</li> <li>・技術課題ワークシート 40%</li> <li>・その他(作品提出、フォーム提出、参加態度等)20%</li> </ul>			